

第1学年算数科 「ぱっと見て順番が分かるように並べよう

～かずしらべ～

学習指導者 井下 修一

単元の概要・子供と共有した目標 自らの目標に向かう姿

国語科の時間に、図書館司書の読み聞かせを聞き、本に興味をもった子供たちは、「もっと読み聞かせをしてほしい」と意欲を高めた。そして、5冊の本を提示して投票を行い、クラスで読んでほしい人数が多い本から順に読み聞かせをすることを共通理解することで、「どの本から順番に読み聞かせをしてもらおうか決めよう」と目標をもち、ものの個数に着目して分類整理しながら課題解決していった。

見通し 問題を発見して、課題を設定する姿

読み聞かせをしている様子の写真や読み聞かせをする5冊の本を提示し、票数の多い本から順に読み聞かせをすることを共通理解して、目標を設定した。投票の結果として、本の絵をばらばらに配置して提示し、数えることの大変さや、数え間違いが起りやすいことを学級全体で共有することで本時の問題を明確にし、課題を設定した。

目標達成に向けて意欲を高める姿が見られました。子供たちが困ったことを出し合い、解決方法を考える中で、分類整理をしていく見通しをもちました。

絵がばらばらにあるから、どの本が多いのか分かりにくいよ。

同じものを並べたらいいよ。



行動 ぱっと見て順番が分かるようにするには、どうやって並べたらいいかな

諦めずに試行錯誤する姿

まず、実際の本の大きさの比率の絵を並べて絵グラフをペアで作成し、資料を読み取る場を設定した。下から隙間なく並べると、数が少ないのに高さが1番高くなってしまって、分かりづらいことを共有した後、**「いろいろなやり方を試すといい」**という諦めずに試行錯誤する方法を教示し、再度並べ方を考える時間を設定した。次に、子供のアイデアを基に、本の大きさを揃えた絵でも同様の活動を行う場を設定した。その後、「いろいろなやり方を試したから、途中で諦めずに最後まで取り組むことができたり、いい考えが見付かったりしたね」と方法のよさを共有した。

実際の本の大きさの比率の絵を並べて絵グラフを作成する中で、間隔を揃えて配置しようと絵を横に揃えて一対一対応させて並べたり、高さを揃えて配置しようと絵を縦に向けて並べたりするなど、諦めずに試行錯誤する姿が見られた。また、本の大きさを揃えた絵でも絵グラフを作成した。そして、最大値や最小値、順位といった資料の特徴を捉えて、多い順番を明らかにしていった。

1番人気なのは、高さが1番高い〇〇。
2位は、次に高さが高い△△だね。

絵の大きさが揃っていると、高さを比べられるから分かりやすいね。



振り返り 自らの学びを正確に捉える姿

本単元の目標と、本時の課題の二つが達成できたかどうかについて、テレビモニターに視点を示しながら振り返る場を設定した。その際、数名の子供に発表を促し、同様の考えだった場合には挙手で表出できるようにした。

どの本から順番に読み聞かせをしてもらおうかや、どのように並べたらよいかについて振り返ることができた。

絵を同じ大きさにして、横に揃えて並べると、ぱっと見て順番が分かりました。



考察 (○：成果、▲：課題)

- 具体物を操作する場があったことで、どの子供もいろいろなやり方を試すことができていた。試行錯誤する姿の写真とともに称賛することで、1年生でも自分のことを振り返ることができた。
- ▲ 本の大きさを揃えた絵を並べて絵グラフを作成し、資料を読み取る際に課題の意識が弱くなっていたので、再度課題に立ち返り、ぱっと見て順番が分かるように並べる意識付けができるとよかった。

